

令和7年度 業務委託仕様書

1. 委託名 森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

2. 委託箇所名 秩父郡小鹿野町日尾・両神薄・飯田地内

3. 委託の概要 森林境界保全素図作成業務（日尾地内） 391.54ha

（両神薄地内） 51.52ha

（飯田地内） 18.00ha

位置図

全図



委 託 年 度	令和 7 年度
委 託 名	森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	林道委託 令和06年度
工 種 区 分	測量業務
単 価 適 用 年 月 日	令和07年07月01日付 公共
単 価 地 区	秩父(秩父県土整備)
機 損 適 用 年 月 日	令和06年10月以降適用
歩 掛 適 用 年 月 日	令和06年10月 林道委託
備 考	

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

業務委託料内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
測量業務02					
直接測量費	1	式			
直接測量費(積上)	1	式			
計画準備	1	式			E 1 号
資料収集整理	1	式			E 2 号
打合せ(測量業務) 中間打合せ 2回	1	業務			代 1 号
小字界の作成及び公図の仮配置	461	ha			E 3 号
森林境界保全図素図の作成	461	ha			E 4 号
空中写真オルソ画像作成	461	ha			E 5 号
各種照合・取りまとめ	1	式			E 6 号
報告書作成	1	式			E 7 号
統合GIS(PasCAL)への搭載設定	1	式			E 8 号
直接経費	1	式			
安全費(率計上分)	1	式			
電子成果品作成費(率計上分)	1	式			
直接測量費計	1	式			
測量諸経費	1	式			
測量業務価格	1	式			
消費税等相当額	1	式			

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

業務委託料内訳書

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

第 1 号 代価表

打合せ(測量業務) 中間打合せ 2回

1 業務 当り

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

森林境界保全素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

森林境界保全図素図作成
業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）
特記仕様書

第 1 章 総則

（適用範囲）

第1条 本仕様書は、小鹿野町（以下「発注者」という）が委託する森林境界保全図素図作成業務委託（日尾・両神薄・飯田地内）（以下「本業務」という）に適用するものである。

（目 的）

第2条 平成28年5月の森林法の一部改正において、森林所有者や境界の明確化に向けた取組みの一つとして、市町村が統一的な基準に基づき、森林の土地の所有者や林地の境界に関する情報などを整備・公表する林地台帳制度が創設された。さらに、森林経営管理法の施行により森林経営管理法に基づく森林経営管理制度による市町村が主体となった森林の経営管理が進められているところである。その中で、市町村は経営管理権集積計画を作成していく必要があり、林地台帳および地図の精緻化は喫緊の課題となっている。本業務は、森林の境界および所有者を明確化することを目的とし、森林境界保全図素図を作成するものである。

（業務概要）

第3条 本業務の概要は、以下のとおりとする。

（1）計画準備	1 式
（2）資料収集整理	1 式
（3）打合せ協議	1 式
（4）小字界の作成及び公図の仮配置	461 h a
（5）森林境界保全図素図の作成	461 h a
（6）空中写真オルソ画像作成	461 h a
（7）各種照合・取りまとめ	1 式
（8）報告書作成	1 式
（9）統合型 GIS への搭載設定	1 式

（準拠法令等）

第4条 本業務は、委託契約書及び本仕様書によるほか、次の関係法令等に基づき実施する。

- （1）森林法（昭和26年6月26日法律第249号）
- （2）森林法施行令（昭和26年7月31日政令第276号）
- （3）森林法施行規則（昭和26年8月1日農林省令第54号）

- (4) 測量法（昭和24年6月3日法律第188号）
- (5) 測量法施行令（昭和24年8月31日法令第322号）
- (6) 測量法施行規則（昭和24年9月1日建設省令第16号）
- (7) 小鹿野町公共測量作業規程（平成23年10月25日国国地416号）
- (8) 国土交通省公共測量作業規程の準則（昭和26年8月25日建設省告示第800号）
- (9) 航空法（昭和27年7月15日法律第231号）
- (10) 航空法施行令（昭和27年9月16日政令第421号）
- (11) 航空法施行規則（昭和27年7月31日運輸省令第56号）
- (12) 林野庁測定規定（平成24年1月6日付け23林国業第100号—1林野庁長官通知）
- (13) 地理空間情報活用推進基本法（平成19年5月30日法律第63号）
- (14) 小鹿野町会計規則（平成17年10月1日規則第45号）
- (15) 個人情報保護に関する法律（平成15年5月23日法律第57号）
- (16) 小鹿野町個人情報保護法施行条例（令和4年12月7日条例第17号）
- (17) 小鹿野町個人情報保護法施行細則（令和5年3月23日規則第24号）
- (18) 森林経営管理法（平成30年6月1日法律第35号）
- (19) 森林経営管理法施行令（平成30年11月21日政令第320号）
- (20) 森林経営管理法施行規則（平成30年12月19日農林水産省令第78号）
- (21) 森林経営管理制度に係る事務の手引（令和2年6月 林野庁森林利用課）
- (22) 林地台帳及び地図整備マニュアル（平成2年6月改定 林野庁計画課）
- (23) 林地台帳及び地図運用マニュアル（平成2年12月改定 林野庁計画課）
- (24) 地籍調査作業規程準則（昭和32年総理府令第71号）
- (25) リモートセンシング技術を用いた山村部の地籍調査マニュアル
（平成30年5月 国土交通省 土地・建設産業局 地籍整備課）
- (26) リモートセンシングデータを活用した基本調査における集会所等での説明会実施の
手引（令和元年12月 国土交通省 土地・建設産業局 地籍整備課）
- (27) 航測法を用いた地籍調査の手引
（令和4年4月19日国土交通省不動産・建設経済局地籍整備課企画専門官事務連絡）
- (28) その他関係法令など

（業務指示）

第5条 本業務を実施するにあたり、受託者は当該契約に基づき発注者と綿密な連絡を取り、その指示を受けなければならない。

（主任技術者及び現場代理人）

第6条 主任技術者及び現場代理人については、専門的知識が必要との観点から、次の資格を有し、かつ同種業務の実績を有する者を配置しなければならない。
本業務の特質を考慮し、次の有資格者を配置するものとする。

（1）主任技術者

技術士（森林部門）又は空間情報総括監理技術者

（2）現場代理人

測量士又は森林情報士

2. 受注者と雇用契約のある技術者を配置するものとし、契約時に各技術者の資格を証明する登録書および保険証の写しを発注者に提出するものとする。

(業務計画)

第7条 業務着手前に本仕様書に基づき、工程毎の業務方法及び内容についての計画を立案し、業務計画書、着手届、工程表並びに主任技術者及び現場代理人届を発注者に提出して発注者の承認を得なければならない。

(関係官公署への手続き等)

第8条 受託者は、本業務実施のために関係官公署への手続等が必要な場合は、発注者と協議の上、その指示を受けて迅速に処理を行うものとする。また、関係官公署等に対して交渉を要するとき又は交渉を受けたときは遅滞なくその旨を発注者に申し出て協議を行い、その指示に従うものとする。

(作業状況の報告)

第9条 受託者は、本業務の各工程が終了する毎に、作業状況及び作業内容を報告し、次の工程に進むものとする。

(諸事故の処理)

第10条 受託者は、本業務実施中に生じた諸事故や第三者に与えた損害について、受託者の責任において解決するとともに、発生原因、経過、損害の内容を速やかに発注者へ報告しなければならない。

(成果品の検査)

第11条 受託者は、中間検査及び完了検査を受ける場合には、あらかじめ成果品並びに関係資料等を準備し、業務技術者が立会いの上、検査を受けなければならない。

(成果品の帰属)

第12条 本業務における成果品の帰属は、すべて発注者とする。受託者は発注者の許可なく使用、流用してはならない。

(損害賠償及び瑕疵担保)

第13条 受託者は、業務完了後といえども、受託者の過失又は疎漏等に起因する不良箇所が発見された場合は、速やかに成果品の訂正・補足をしなければならない。なお、これに要する経費は、受託者の負担とする。

(守秘義務)

第14条 受託者は、本業務の遂行上知り得た事柄を、第三者に漏らしてはならない。

2. 本業務が完了した後、又は契約が解除された後においても、同様に以下の事項を遵守するも

のとする。

(1) 作業を行う部屋の特定と室外持出禁止

作業を行う部屋は固定し、入室管理及び施錠できること。

(2) パソコン等使用時の措置

1) パソコンを使用する場合は、ID又はパスワードにより業務従事者のみがデータ入力及び閲覧できる措置を講じること。

2) 入力した個人情報等は、本業務後に確実に消去すること。

(3) 個人情報等の保管方法

発注者から貸与された個人情報等は、鍵のかかるロッカー等に保管すること。

(4) 個人情報等の受け渡し

個人情報等の移動は、安全及び確実な方法で行うこと。

(5) 業務従業者の教育・指導

本業務を履行するにあたり、発注者が求める守秘義務に万全を尽くすように、受託者は業務従事者の教育及び指導を徹底すること。

(個人情報の保護)

第15条 本業務で取扱う情報については、個人情報はもとより、発注者から貸与された資料および情報を適正に管理しなければならないものとする。

(疑義)

第16条 本仕様書に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、発注者と受託者が協議の上、発注者の指示に従い業務を遂行するものとする。

(納期)

第17条 本業務の納期は、令和8年3月19日とする。なお、納期内であっても本業務の内完成した成果品については提出を求める場合がある。

(納入場所)

第18条 本業務における成果品の納入場所は小鹿野町産業振興課とする。

第2章 業務範囲

(業務対象)

第19条 本業務の対象範囲（以下「調査区域」という）は以下のとおりとする。

森林境界保全図素図作成：小鹿野町日尾・両神薄・飯田地区の一部 461ha

空中写真オルソ画像の作成 461ha

第3章 業務内容

(計画準備)

第20条 受注者は、本業務を実施するにあたり、実施計画書および工程表を作成し、発注者の承認を得るものとする。

2. 業務の実施中に、作業要領などが変更となった場合には、実施計画書を適宜修正するとともに発注者の承認を得るものとする。

(貸与資料)

第21条 本業務を遂行するにあたり、発注者は受託者に次の各号に掲げる資料を貸与するものとするが、受託者は貸与資料の取り扱いについて十分に注意し、破損、汚損のないよう慎重に取り扱わなければならない。また、貸与された資料等については、発注者の許可なく複製してはならず、本業務以外での利用を禁止する。本業務完了後は速やかに発注者に貸与資料を返却しなければならない。

- (1) 森林計画図データ（SHAPE形式）
- (2) 森林簿データ（CSV形式）
- (3) 林地台帳地図データ（SHAPE形式）
- (4) 林地台帳データ（CSV形式）
- (5) 土地登記簿（CSV形式）
- (6) 土地課税台帳データ（CSV形式）
- (7) 固定資産税地番図データ（SHAPE形式）
- (8) 境界測量実績（地積測量図等）
- (9) 航空写真画像データ（TIFF形式）
- (10) 航空レーザ計測成果（TIFF形式など）
- (11) 令和5年度森林解析業務成果（TIFF形式など）
- (12) 字界図（字限図）
- (13) その他本業務に必要な資料

(資料収集整理)

第22条 受注者は、発注者が貸与する各種資料を収集するとともに、本業務で効率良く利用できるように整理するものとする。また、収集資料は、必要に応じて適宜複製を作成しても良いものとするが、発注者の承認を得るものとする。

2. 収集する資料の種類は、前条の貸与資料のとおりとするが、業務を実施する上でほかに必要と

なる資料が生じた場合には、発注者と受注者の双方で協議を実施し、適宜収集するものとする。

(打合せ協議)

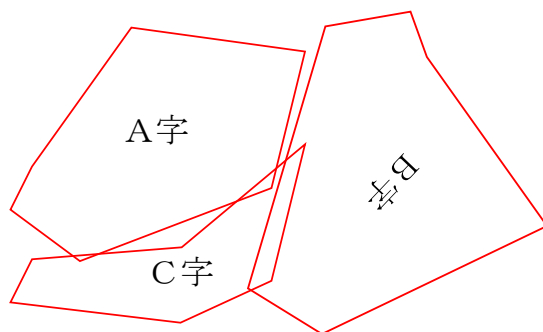
第23条 本業務を実施するにあたり、発注者と受注者の双方で協議を実施するものとする。

2. 協議の実施については、初回・中間・最終とするが、必要に応じて適宜実施するものとする。
3. 協議の結果については、記録簿に整理するものとし、発注者と受注者の双方にて保管するものとする。

(小字界の作成および公図の仮配置)

第24条 貸与した小字配置図を利用して、背景地図上に小字界および小字名称を作成するものとする。

2. 小字界については面データとし属性情報は小字コード、小字名称とする。
3. 公図の仮配置には、前段の小字界およびオルソ画像ならびに微地形表現図などを利用して、小字単位でおおむねの公図の仮配置するものとする。



＜小字界の作成および調査図素図の仮配置地図データイメージ＞

(森林境界保全図素図の作成)

第25条 前条で仮配置した公図および各種リモートセンシングデータを参照して、地理情報システムを利用して境界および地番を編集するものとする。

2. 森林境界保全図素図の作成は、つぎの項目に留意するものとする。
 - (1) 境界は、所有者界ではなく筆界で編集する。
 - (2) 調査区域の隣接部の地籍調査事業、境界明確化事業ならびに国有林の状況などを確認する。
 - (3) 境界の位置および形状は等高線、微地形表現図の尾根線・谷線ならびに林道、作業道、耕地界、樹種界、樹高界などを基に編集する。
 - (4) 境界確定の参考とできる年度の航空写真を調達する。



＜森林境界保全図素図＞

（空中写真オルソ画像作成）

第26条 過去の航空写真を調達し、オルソ画像を作成するものとする。作成したオルソ画像に対してカラー化を行うものとする。調達する航空写真は監督職員との協議の上決定する。

（各種照合・取りまとめ）

第27条 前条で作成した森林境界保全図素図に対して登記情報および土地課税台帳データと照合し、不一致一覧表として発注者に提出および説明し、不一致の状況について発注者の了解を得るものとする。

2. 不一致の区分項目は、以下一覧表のとおりとする。

- ①全て一致する地番
- ②森林境界保全図素図にのみ有る地番
- ③課税情報等にあつて森林境界保全図素図に無い地番
- ④重複する地番
- ⑤無番地

項番	照合結果	森林境界保全図素図	土地課税台帳	土地登記簿
①	全て一致	○	○	○
②-1	森林境界保全図素図にのみ有る	○	○	×
②-2		○	×	○
②-3		○	×	×
③-1	森林保全図素図に無い	×	○	○
③-2		×	○	×
③-3		×	×	○
④	重複地番	重複	—	—
⑤	無地番	無地番	—	—

（報告書作成）

第28条 受注者は、本業務の結果を報告書にとりまとめし、発注者に提出するものとする。

(統合型 GIS (PasCAL) への搭載設定)

第29条 受注者は、本業務で整備する各種データを納品用の成果品としてとりまとめるものとする。

2. 本業務で作成する S H A P E データを発注者が所有する統合型 GIS システム (PasCAL) にセットアップするものとする。

第 4 章 納入成果品

(納入成果品)

第30条 本業務の成果品は、次のとおりとする。

(1) 業務報告書 (製本および電子データ)	1 式
(2) 森林境界保全図素図データ	1 式
(3) 空中写真オルソ画像データ	1 式
(4) 不一致一覧表	
(5) 打合せ記録簿	1 式
(6) その他、発注者が必要と認めたもの	1 式